

ノオハシマス庭ニ、縁ノ間スヨシ引ノキテ、キヒシク鹿垣ヲユヒ
 オス、殿自ラ御出アリテ、何故ニカクハスルゾ、ト尋テサセ給ヒ
 ニ、重長ガ侍畏テ、公ヨリノ仰ニモヤ候フラン、クワシキ事ハ存セ
 ス候ト申ス、障子引建テ、内ニ入ラセ給ヒテ後ハ、出サセ給ハ
 日モヌデニ暮ヌ、近ク召仕ハル、女房達三人ヲ、宵ヨリ皆御暇給
 リテ、オリガ同々ニ下ラレ、御傍ヲニ侍ルモノ女ノ童唯一人又
 酒温メテ參ラセヨト仰セラレシニ依テ、御前ヲ立テ、ヤガテ提
 ナテ參ル、御盃ヲトリ上テ給ヒテ、召ヌ事ニタドニ至テ、今少シ温
 メテ進ラセヨトアレハ、一人ノ童提モテ出ツ、今一人ノ童ニ
 ハ肴トリ來レトアリシガハ、オナシク御前ヲ立テ御酒御肴持來
 テ見レハ、白キ御小袖ノ上ニ、黒キ御小袖ニ御投ツキタルヲ、

カケテ伏サセ給ヒシガ、御小袖悉クアケニソミテ、事切レサセ給フ、
 二人ノ女ノ童大ニ驚キ、走り出デカクト告シカハ、配所ノ御供ニ候
 ヒシ人々馳參リテ見ルニ、御ワキ刀ニテ御頸ノ半突キ貫ヌカセ給
 ヒ、前ノ方へ押切テ、ウツブシニ伏サセ給ヒヌ、御年ハ廿八ニソチ
 ラセ給ヒケル、マタ御事アルベキ五二日ガ前ヨリ、御寶物ドモ長持
 ニ入レサセ、御手ツサミニ書セ給ヒシ反故様ノモノト同シク、オハ
 シマス所ノ庭ニシテ、悉ク燒棄サセ給ヒシ、此程ヨリカク思召立セ
 給ヒシニヤナド、世ニハ傳ヘシ、詳カナル事ヲハ誰カ知ルベキ、若
 シ是等ノ事マユトナランニハ、重長ガ申セシ如ク、今又一月ヲ越シ
 程ヲ待テ、其後御心ツカセ給フヤウニ計ランハ、深キ心アリトソ見
 エル、其事モ皆空シクナリヌレハ、哀ナリシ事ナリ、今ノ世誰カカ

上ル仰奉テ一月方越シホドテ、ソノ事トモクウナスグ、
縣々重長、其ノシキ人ニユツ、
藩 翰 譜

阿部正次忠誠

阿部備中守正
次相州小田原
城主徳川氏ノ
世臣ナリ寛永
三年大坂城代
トナル正保四
年十一月正次
病急ナル由江
戸ニ聞エシカ
ハ其子對馬守
重次ヲシテ訪

對馬守重次、十一月二日御暇賜テ、夜ヲ日ニツギテ馳上ルホトモ、
同及日大坂ニ着キテ、父ノ病ヲ見ルニ、既ニカウヨト見エシカ、
夜重突此所ノ奉行城番ノ人々ニ向ヒ、父ノ勞ハリ、アシタユウベサ
待タズカ、
恐火スズテ新テス、速カニ私ノ別業ニ移シ、終焉ノ事ヲ計ラシテ存
在シ、
面々モ此事ヲ存シ候ト

同セシメラル
同月十四日年
七十九歳ニシ
テ奉ス今ノ阿
部伯ノ親ナリ

キ、御計本意然ル、御候下、
テ、泣クシテ此由ヲ申訴シ、
ハマダ、
子、
所ニ罷カシ、
ニ在リテ、
當世、
戰功、
カ、
事、
以、
城、

親衛候利マニ、正次ガ身命ヲテラシ限リ、城邊守テ、大手無登渡
 候ウマシ、唯是決以テ正次ガ奉公ノ節ト任ルベキニテ候、正次
 奉リテ罷上リ候ヒキハ、サレバ正次ガ一息^{トイ}息ノツマ、平テアヌモ
 軍、此城ヲ誰ニカ渡シ候ヲバキ、又正次^{トイ}來ヨキニテ死シヌラシキ
 候、若シ^{トイ}、所ヲ穢シ申スノ憚リアルニ似タレトモ、凡ソ城
 ヲ高クシ池ヲ深クスルト、事危キニ臨ミテ、戦士死テ以テ
 守ルキガ爲メ、積ミテ壘ヲ増シ、血ヲシテ、天
 ヲ深クスル事、古ヘヨリソノ例少ナカラヌ、若シ死テ以テ、
 タマハ、城築ク事大ナラキハ、若シ^{トイ}、是等ノ事、以テ思重
 ク、決テ^{トイ}、議地内ル所、正次ガ素懐ニ同シカテ、
 正次^{トイ}、正次ガ素懐ニ同シカテ、
 正次^{トイ}、正次ガ素懐ニ同シカテ、

キ、況ンヤ、老老^{トイ}、期既ニ^{トイ}、老痛^{トイ}、イニ身ト迫リテ、
 ラニ明^{トイ}、カナ^{トイ}、正次ガ所存^{トイ}、義ニ當^{トイ}、トモ覺^{トイ}、須^{トイ}、
 夫^{トイ}、議^{トイ}、所^{トイ}、正次ガ思^{トイ}、注進^{トイ}、馬^{トイ}、進^{トイ}、御
 裁斷^{トイ}、仰蒙^{トイ}、ウモヤ候、ト云ヒシカ、重次モ人^{トイ}、宣^{トイ}、所理
 リ至極^{トイ}、サラハ飛脚^{トイ}、此由^{トイ}、申^{トイ}、下^{トイ}、議定^{トイ}、同日
 戌ノ時^{トイ}、ハカリニ飛脚^{トイ}、到來^{トイ}、將軍家事^{トイ}、由^{トイ}、聞召^{トイ}、御感^{トイ}、
 メナラヌ、正次ガ所存^{トイ}、違^{トイ}、事^{トイ}、最モ神妙^{トイ}、至^{トイ}、思召^{トイ}、
 タ、ウシマ、候^{トイ}、下^{トイ}、同^{トイ}、キ十二日^{トイ}、飛脚^{トイ}、歸^{トイ}、
 正次^{トイ}、傳^{トイ}、聞^{トイ}、感涙^{トイ}、堪^{トイ}、不^{トイ}、目^{トイ}、經^{トイ}、卒^{トイ}、イカニ思
 所^{トイ}、遺言^{トイ}、澁州^{トイ}、ホ^{トイ}、火葬^{トイ}、骨^{トイ}、灰^{トイ}、
 モ同^{トイ}、沙^{トイ}、中^{トイ}、沈^{トイ}、

君少疎き時、忽に臣トシテ述懐の心生ヌル。然、犬馬ト同、犬馬雖愛
 され、懐き愛され、其の懐かき人トシテ、其の懐き受
 け、我ニ疎ソカニ爲リタリ。何レカ力ニテ君以御心ヲ和
 ン、ナキトシテ、無ニ志スナコソ、武士ト申テ、甲斐モ御座候ナシ、第
 主介様ハ、思慮モ分別モ入ラズ候、何事モ唯誠ナルガキク候。聞
 貝女心サ實ニ致サルベク候、云々、某、四郎左衛門之御小性ニ召仕
 ハレ候所、此中ハ、表へ御出シテ、入ニハ合セ、其ノ心モ
 ナレ、君臣ノ間ニモ、ア、レ、バ、少シモ御恨ニハ存ゼ、候。若シ
 四郎左衛門不忠ノ心アリテ、斯様ノ儀ニ付御前遠クナリ候。其
 其品ヲ聞カバ、人手ハカケマシ、某ガ老ノ手ニカケテ、頭ヲ刎
 ズ、其存候へ、君ニ對シ、不忠キ人者ハ、何ソ子トモ思ハシヤト申

忠成嫡子四郎
左衛門忠重

其品ヲ聞カバ、人手ハカケマシ、某ガ老ノ手ニカケテ、頭ヲ刎
 ズ、其存候へ、君ニ對シ、不忠キ人者ハ、何ソ子トモ思ハシヤト申

サレ候。然、其ノ懐き愛され、其ノ懐かき人トシテ、其の懐き受
 け、我ニ疎ソカニ爲リタリ。何レカ力ニテ君以御心ヲ和
 ン、ナキトシテ、無ニ志スナコソ、武士ト申テ、甲斐モ御座候ナシ、第
 主介様ハ、思慮モ分別モ入ラズ候、何事モ唯誠ナルガキク候。聞
 貝女心サ實ニ致サルベク候、云々、某、四郎左衛門之御小性ニ召仕
 ハレ候所、此中ハ、表へ御出シテ、入ニハ合セ、其ノ心モ
 ナレ、君臣ノ間ニモ、ア、レ、バ、少シモ御恨ニハ存ゼ、候。若シ
 四郎左衛門不忠ノ心アリテ、斯様ノ儀ニ付御前遠クナリ候。其
 其品ヲ聞カバ、人手ハカケマシ、某ガ老ノ手ニカケテ、頭ヲ刎
 ズ、其存候へ、君ニ對シ、不忠キ人者ハ、何ソ子トモ思ハシヤト申

濱田彌兵衛ト申ヌ者ノ事、長崎ニ罷在リ候ヲ浪人ニテ候、太猷院様

太猷院様ハ徳
附家光公ナリ

御代ノ事ニ候、其時分平戸ニ鄭一貫ト申ヌ者歸國致シ、ア、ナ、タ、ニ、テ
 國姓爺ト申シ候。此ノ者事ハ、カチテ隠レナキ事ニ候へハ、申スニ
 及ハズ候。臺灣國ト申スハ、タカサゴノ事ニテ候。是ヲ攻取リ候ヌ
 テ、其勢盛シニ罷成リ候。其砌リ臺灣國ヲハ、阿蘭陀ヨリ領シ候。其
 所、國姓爺ニトシテ申シ候。然レドモ、阿蘭陀人多年其ノ國ノ土人ヲ
 服シ來リ候。其ノ付キ、其ノ阿蘭陀勢ヲ指置キ候。此ノ國

預之其身、大浦、取合、此方、罷越、島前國
 姓、日本、三居、申、候、節、長崎、未、平、藏、ト、交接、ナ、國、ユ、以、テ
 リ、候、也、毎、年、奉、藏、方、ヨリ、漳州、ノ、糸、買、ヒ、遣、シ、申、候、時、分、臺
 灣、國、ノ、罷、越、シ、此、國、ニ、宿、リ、致、シ、願、テ、待、テ、候、所、阿、蘭、陀、人
 共、有、糸、ヲ、買、ト、申、代、金、表、分、コ、シ、テ、見、マ、シ、漳、州、ノ、少、シ
 申、テ、モ、ヤ、ト、申、ス、小、島、ヨリ、テ、候、其、島、舟、着、テ、モ、ソ、コ、ニ
 漳州、ノ、渡、リ、申、候、阿、蘭、陀、人、共、右、ノ、島、へ、先、テ、人、ヲ、遣、置、候
 候、テ、上、日、本、人、ノ、割、取、候、日、本、人、ホ、ウ、ハ、莫、體、テ、又、臺、灣、マ
 テ、罷、歸、リ、臺、灣、ノ、土、人、ヲ、右、ノ、證、據、ニ、一、兩、輩、日、本、へ、同、道、致、シ、平、藏
 へ、右、ノ、段、々、申、聞、ケ、候、平、藏、事、ノ、外、無、念、ニ、候、ヘ、ト、モ、仕、ル、ハ、様、モ
 申、候、然、ル、所、右、ノ、濱、田、彌、兵、衛、承、リ、テ、日、比、平、藏、懇、ニ、モ、致、シ、候

フ、敬、見、候、申、候、内、々、御、懇、意、申、候、不、公、此、度、ノ、遣
 根、掘、者、ハ、御、申、ス、ト、シ、候、御、心、安、候、申、候、左、候、ハ、右、ノ、島、當、申、候
 船、申、ス、ヘ、シ、候、來、春、ニ、至、リ、候、ハ、大、船、壹、艘、下、百、姓、百、人、以、上、
 船、給、ル、候、其、外、武、具、廿、五、入、リ、申、サ、テ、耕、作、ノ、道、具、百、人、分、
 カ、リ、相、渡、サ、ル、候、其、外、ナ、ニ、モ、イ、リ、申、サ、テ、ル、旨、申、候、奉、藏、ハ、其
 時、分、長、崎、御、代、官、ニ、テ、天、下、ノ、有、福、者、ト、申、手、下、ノ、百、姓、共、催、テ、
 彌、兵、衛、ヲ、渡、シ、申、候、彌、兵、衛、同、船、致、シ、弟、小、右、衛、門、其、子、三、人、ヲ、
 申、渡、リ、候、テ、着、岸、ノ、所、阿、蘭、陀、人、共、見、ツ、テ、候、テ、日、本、ノ、船
 ニ、差、向、ヒ、サ、テ、申、候、フ、ハ、何、故、ニ、參、リ、候、フ、ヤ、有、様、ニ、申、候、テ、
 打、殺、シ、申、ス、ル、旨、申、候、彌、兵、衛、申、候、マ、ハ、其、儀、ニ、テ、候
 此、ノ、國、沃、土、無、類、候、所、耕、作、ノ、事、不、案、内、故、大、分、ノ、地、所、罷、在、リ

候、御下知次第ニ仕ルベク候、日本船ヲモ早速海上ヘオロシ、且ツ又
番船引カセ、石火矢ハツツサセ申スベク候、少シモ延引候ハ、一打
ニ仕ルヘキ旨申シ候、甲比丹申候アハ、何分ニモ畏リ申シ候、但シ
私ナス様ニ手込メニナシ置レ候フテハ、下知仕ルベキ様コレナク
候フ間、暫ラク御放シ候フ様申シ候故、彌兵衛ソノマ、刀ヲ胸ヘサ
シナガラ、カピタンヲ引張りアリキ候フテ、下知致サセ申シ候、須
臾ノ内ニ金子山ノ如ク積ミ申シ候、石火矢早速ヒカセ、日本船ヲ海
上ヘ押出サセ申シ候、彌兵衛ソノ上ニテ申シ候フハ、オノレ此ノ上
ハユルスベケレドモ、日本ヘ連レテ参リ候フテ、段々公儀ヘ申シ上
ゲ。御下知次第ニ仕ルベク候フ間参リ候ヘ、トテ舟ヘ連レテ参リ候
フ時、甲比丹申シ候フハ、其ノ段ハ何分御免シ下サルベク候、私日

候、御下知次第ニ仕ルベク候、日本船ヲモ早速海上ヘオロシ、且ツ又
番船引カセ、石火矢ハツツサセ申スベク候、少シモ延引候ハ、一打
ニ仕ルヘキ旨申シ候、甲比丹申候アハ、何分ニモ畏リ申シ候、但シ
私ナス様ニ手込メニナシ置レ候フテハ、下知仕ルベキ様コレナク
候フ間、暫ラク御放シ候フ様申シ候故、彌兵衛ソノマ、刀ヲ胸ヘサ
シナガラ、カピタンヲ引張りアリキ候フテ、下知致サセ申シ候、須
臾ノ内ニ金子山ノ如ク積ミ申シ候、石火矢早速ヒカセ、日本船ヲ海
上ヘ押出サセ申シ候、彌兵衛ソノ上ニテ申シ候フハ、オノレ此ノ上
ハユルスベケレドモ、日本ヘ連レテ参リ候フテ、段々公儀ヘ申シ上
ゲ。御下知次第ニ仕ルベク候フ間参リ候ヘ、トテ舟ヘ連レテ参リ候
フ時、甲比丹申シ候フハ、其ノ段ハ何分御免シ下サルベク候、私日

本へ参り申シテハ、當國ニ居リ申ス阿蘭陀ノ者仕置^シ仕^ル候フ者コ
 レナク候、本國へ聞エ候フテ、妻子眷屬マデ難義仕^ル候フ事ニ候、
 私身ニ替へ申ス愛子一人コレアリ候フ間、是ヲ私代リニ御連レ下
 サルヘク候、愛子ノ儀ニ候ヘバ、私イカヤウニ相成リ候フテモ、御
 手へ渡シ難キ事ニ候ヘドモ、イカニシテモ私此國ヲ放レ候フテハ、
 本國へノ申譯コレナキ事ニ候ヘハ、私儀其ノマ、御指置キ下サル
 ベク候フヤウニト、タツテ申シ候フ故、彌兵衛承知致シ、子ニ紛レ
 コレナキ事、臺灣ノ者共ニ尋子候フ所、愛子ニ紛レナキ事ニ候フ故、
 十二歳ニ爲リ申シ候フ甲比丹ノ子ヲ連レ候フテ、日本へ歸リ申シ
 候、早速江戸表へ言上^ニ及ヒ候フ所、大猷院様御感遊ハサレ、右甲
 比丹ノ子ヲバ、長崎ニテ籠舎仰付ラレ、翌年右ノ甲比丹日本へ参リ

候フテ、右ノ子供、井ニ同道致サセ越シ候阿蘭陀ノ者共、モライニ
 参リ申シ候、其ノ時分右悴ハ牢ノ内ニテ病死イタシ候フテ、残りノ
 者共ヲハ下サレ候フテ、連歸リ申シ候フ由ニ候、古今ノ大遊俠是ニ
 過グベカラズ候、末次ガ懇意ト申スバカリニテ、日本人ヲ辱メラレ
 候フ事ヲ無念ニ存シ候フテ、外國へ渡リ、段々ノ事、比類ナキ事ニ
 存シ候、

明治二十五年二月一日印刷
明治二十五年二月三日出版

正價金三拾錢

編纂者 內藤 燦 聚

小石川區金富町五十二番地

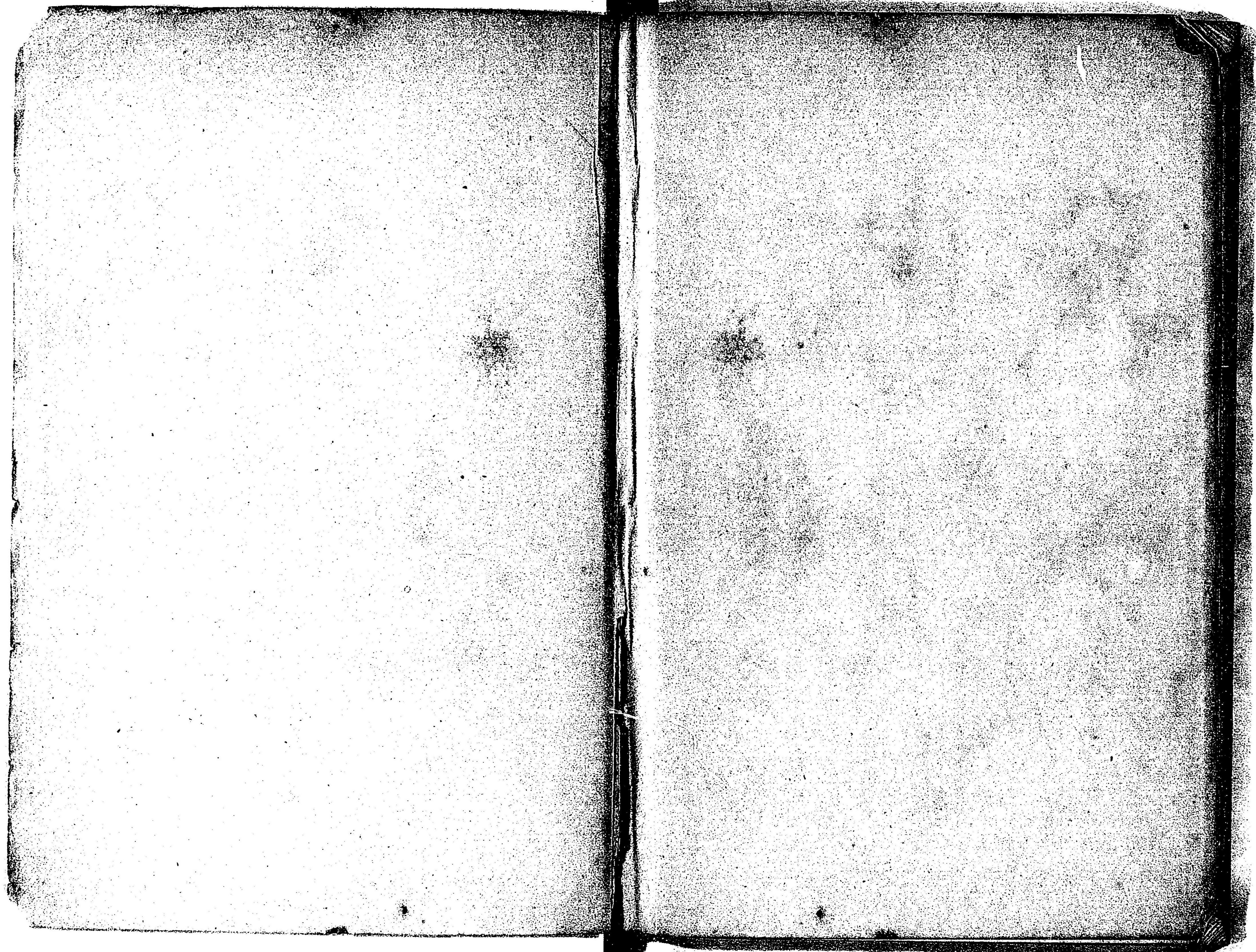
印刷者兼 大橋 新太郎

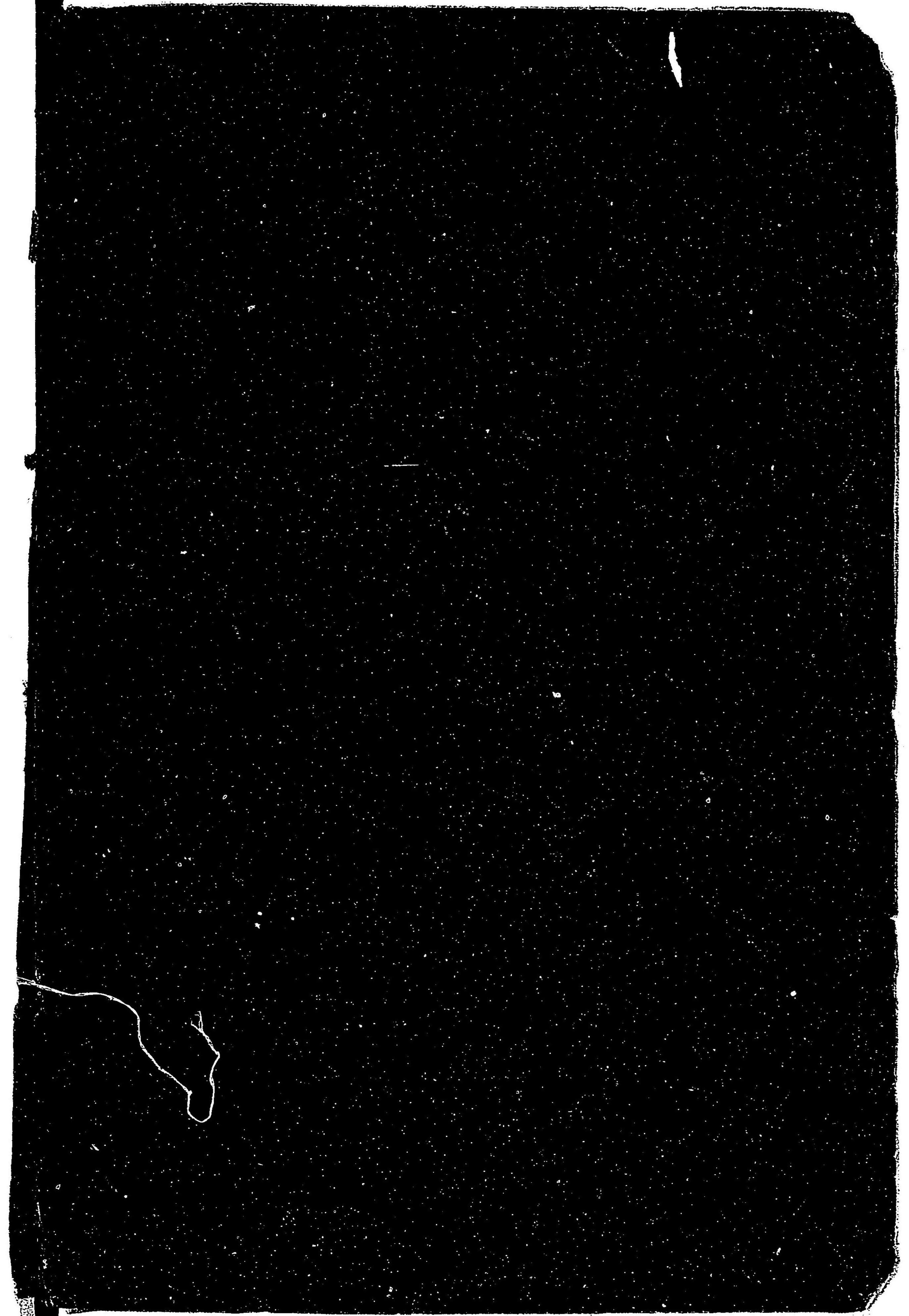
日本橋區本石町三丁目十六番地

版權所有

發兌元 博文館

東京日本橋區本石町三丁目十六番地





050956-000-9

特16-242

軍人読本(忠君愛国)

内藤 燦聚/編

M25

BFA-0122

